

一般質問



議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、3月6日及び9日・10日の、3日間をかけて、12人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。一般質問の原稿は、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。



そこが ききたい

福祉センター

多世代利用に向けた見直しを

「関係部局と連携して検討する」

真木大輔 議員

直してはどうか。



議員 福祉センターの稼働率が30%を下回る

一方で、子育て世代からは、施設を使わせてもらえないという不満の声が多く上がっている。多世代利用に向けて、施設のあり方を見て

福祉部長 時代や社会のニーズに合わせて柔軟に対応することが必要。関係部局と連携して検討を行っていく。

議員 新曽福祉センター内に多世代交流スペースの常設を求める陳情が提出されている。設置を検討している。

福祉部長 地域住民や利用者の意向を踏まえ、実施の可能性を探っていき



▶身近な地域に多世代交流の場を（提供…大阪市立大学生活科学研究科）

自転車ナビ ライン整備

その他の質問

Q 交通の支障となる車道上の違法広告物の回収を。

A 確認次第、対応していく。

Q 歩道のある薄暗い道の道路照明灯を優先的にLED化し、道の全体を照らせるようにしては。

A 対応を検討する。

県下一の財政力を暮らしに活かして

「適切な受益者負担を求める」



日本共産党戸田市議団 望月久晴 議員

議員 上げなど、公共料金の値上げと市民サービスを削減している。市の繰出金は10年間横ばいで増えていない。財政力指数は県下1位。公共料金の値上げと市民サービスの削減をやめるべきではないか。

市長 限られた財源の中で財政運営を行うためには、適正な受益者負担を求めていく必要がある。

◀8月に閉館する上戸田福祉センター



議員 消費増税によって、戸田市に入る地方消費税交付金が0.5%から0.85%に増え、7億円増額となる。この財源で介護保険料の基準額1万4千円値上げや国保税の限度額4万円引き上げはやめられるのでは。

市長 負担の公平や事業の安定的な運営に必要であり、ご協力をお願いする。

「協働のまちづくり」推進の加速を

「自治基本条例の理念を進めていく」



戸田の会 酒井郁郎 議員

市長 自治基本条例の理念に基づき、市民・議会・行政が連携して議論を深め、市民参加を進めてまいりたい。

議員 競艇の経営が悪化している。今後は。

市長 仮に競艇事業の赤字が恒常化した場合、継続は困難。まずは経営改善に取り組む。

議員 放課後子ども教室、青少年の居場所の充実に向けた対策は。

市長 スタッフの確保や実施時間等のニーズを把握し、充実を図る。

議員 特別支援教育の充実に向けた具体策は。

市長 本年度、次年度に通級教室と特別学級を増設。相談・支援にお



▶戸田競艇の経営状態を市民に報告すべきは（提供…戸田競艇組合）

議員 殺処分ゼロを目指した野良猫対策を。

市長 不妊・去勢手術を施すなどの地域猫活動や里親探しなどを支援し、殺処分ゼロを目指す。地域の理解を得て猫の一生を全うさせ、人と猫との共存を図る。

※通級教室…通常の学級に在籍する、比較的軽度の障害がある児童生徒に対して、障害の状態に応じて特別な指導を行うための教室。教科の学習は通常の学級で行う。

※自転車レーン…主に幹線道路の路肩部分に整備される、一面が青く塗られた自転車通行帯。
※自転車ナビライン…青色の矢羽根を連ねた路面表示。